

神の国に招かれたニコデモ

ヨハネ 3 : 1 - 16



司祭 ヨハネ 井田 泉

2015年5月31日

三位一体主日

奈良基督教会にて

ニコデモという人がいました。イスラエルでは有名な教師、聖書学者、指導者でした。年齢は分かりませんが、だいたい 70 歳くらいとしておきましょう。最高法院（ユダヤ人の七十人議会）の議員です。社会的地位があり、尊敬を受けている人です。しかし、だれにも言いませんが、心の深いところにうずくような悩みがありました。

以前からイエスのことを聞いていて、次第に彼は、イエスが神から来た方に違いないと思うようになっていました。ある夜、ニコデモはイエスを訪ねました。言葉を交わしました。しかし結果は物別れのようなことになってしまいました。ずいぶん失礼なことをイエスから言われたと感じたのです。

「人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」ヨハネ 3:3

「はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。」3:5

「あなたはそのままで救われない」と言われたのと同じです。そのような物の言い方はあまり失礼ではないか。不愉快でした。しかしニコデモは心の奥で、イエスが自分のもっとも危ういところ、救いを必要としている傷んだところに触れたと感じていました。

2年3年の間に、イエスの評判と影響力は非常に大きなものと

なりました。それに比例してイエスを秩序破壊者として断罪しようとする動きも急激に高まってきました。ユダヤ人の議会、最高法院ではイエスを神殿冒瀆の罪で告発し、死刑にしようという方向で固まりつつありました。議員であるニコデモは困惑しました。彼はこう発言しました。

「我々の律法によれば、まず本人から事情を聞き、何をしたかを確認めたうえでなければ、判決を下してはならないことになっているではないか。」ヨハネ 7:51

大きな流れに歯止めをかけようとしたのです。しかしニコデモの発言はイエス擁護と見なされ、激しい反発を呼び起こすだけでした。

やがて祭司長たちと有力律法学者たちが行動を起こし、イエスを逮捕しました。最高法院が招集されました。大祭司カイアフアが裁判長となり、イエスを尋問しました。最高法院は全員一致でイエスを死刑と定め、ローマ総督ピラトに引き渡しました。

ほんとうは全員一致ではなかったのです。ニコデモは本心では反対だったのです。しかしそれを言い出すことができませんでした。勇気がなかった。だまっているうちに事は決しました。翌日金曜日の朝、ピラトはイエスの死刑を執行しました。ローマ皇帝に対する反逆罪。見せしめの十字架はりつけの刑でした。

午前9時、イエスは十字架にかけられました。6時間後の午後

3時、イエスは息を引き取られました。ニコデモはどのような思いでその時を過ごしたのでしょうか。

ニコデモが姿を現すのはその日の夕方です。何と彼は、大きな荷物を担いでイエスの十字架のもとに現れたのです。没薬^{もつやく}と沈香^{じんこう}を混ぜた物を持って（ヨハネ 19:39）。重さは100リトラ、約33キログラム。イエスの遺体を包むための防腐剤です。ニコデモはイエスの体を葬るために重い荷物を持って来ました。そこで彼は驚くべき人に出会いました。同じ最高法院の議員であるアリマタヤのヨセフです。ヨセフはイエスの体を十字架から降ろして、葬りの準備をしているところでした。あなたも仲間だったのか！

イエスの葬りの準備をしながら、ニコデモの思いが溢れてきます。

ニコデモの祈りが聞こえてくるのでしょうか。

主イエスさま

あなたは人を愛されたのに、人はあなたを憎みました。

それはあなたの愛が、人の闇を明るみに出すものだったからです。

あなたは光で包もうとされたのに、人は光を拒みました。
あなたは引き寄せようとしたのに、人は逃げました。

あなたは愛から人に呼びかけられたのに、人はそれを攻撃と
取りました。

わたしはあなたによって傷つけられたと思っていたけれど、
あなたのほうがこのように深く傷ついて死なれた。

わたしはひそかにあなたを慕っていました。
けれどももうひとりのわたしはあなたを拒んでいました。
できることならあなたを助けたいと思ったのに
あなたを死へと追い立てる声に抗することはできず、
あなたを見殺しにしてしまいました。
主よ、あわれんでください。
主よ、ゆるしてください。

今、わたしはあなたの十字架にもとに來ました。
あなたの葬りのために、没薬と沈香を用意しました。
どうぞ今、わたしをあなたの弟子としてください。僕として
ください。
あなたと共に死に、あなたと共に葬られることをわたしは願
います。
あなたが死なれた今になって、はっきりと知りました。

あの時、あなたはわたしを神の国に招いてくださった。
それなのにわたしは自分の地位や体面への固執のゆえに、
あなたの招きを拒みました。

主イエスさま、古いわたしを葬ってください。もう取り返しがつかない。もう遅いのですが、あなたのもとにおらせてください。……

このときすでに、十字架のもとで、ニコデモは新しく生まれています。すでにここで神の国に入れられています。

ニコデモはあのとき、イエスによって傷つけられました。けれどもそれは彼が神の国に入るために必要だったのです。

「だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。」 3:5

ニコデモを神の国に招かれた主イエスは、わたしたちを神の国に招いておられます。イエスはわたしたちを神の国のうちに生かしたいのです。

なかなかそこに行こうとしないわたしたちをイエスは見捨てず、長い時間をかけて待ちつつ、わたしたちを引き寄せてくださいます。

洗礼の水と霊によってわたしたちを神の国に招き入れてくだ

さいます。

わたしたちは勇気をもって十字架のもとに行くのです。

祈りましょう。

主イエスさま、あなたがニコデモを神の国に招かれたように、わたしたちを神の国に招いてください。人間の世界の価値観、恐れ、立場や体面へのこだわりからわたしたちを解放してください。十字架のもとにわたしたちを引き寄せてください。十字架のもとに、わたしたちの新しい命があります。その新しい命をわたしたち自身が受け、またそれを人々に広げていけるようにしてください。アーメン